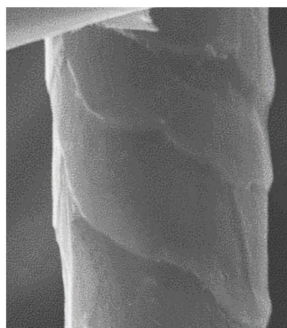


# 新感覚のウール素材

## I. S. T、ひんやり光沢感

新素材の研究開発を行う「アイ. エス. ティ (I. S. T、滋賀県大津市)」は11日、ウールの概念を変える新素材「プラチナウール」を開発したと発表した。糸での販売に合わせ、生地としては世界の最高峰イタリア・ピエーヴェ地区のCMtessut社と協業し、メイド・イン・イタリアとメイド・イン・ジャパン、双方の優れた技術の掛け合わせによる製品を欧州トップブランドに展開する。イタリアで行われるファッション素材の展示会



「ミノノウニカ」を皮切りに本格販売をスタートし、将来的に50億円の販売を目指す。

プラチナ加工後の顕微鏡写真

プラチナウールは、天然素材のウールに対し、特許取得技術である繊維1本1本の表面を滑らかに磨き上げる「プラチナ製法」という手法を施した、光沢感がある肌触りの良い新たな

程度で、技術的にはさらに細くもできる。ウールがリサイクル可能なことも訴求する。

欧州をはじめとしたトップブランドをターゲットにニット、織物ともに提案する。顧客のニーズに合わせるための繊維素材との複合化もできる。

同社はポリイミド (PI) など高耐熱性原料を中心に研究開発を行っており、航空宇宙分野からARグラス、透明ディスプレイなどの新分野まで幅広く応用されてきた実績を持つ。自社開発したレーザープリンターの特

定着用チューブは、発売から35年を経過した現在も世界シェア70%以上 (技術供与分を含む) を占め、1980年代のオフィスプリンターやコピー機の小型化、省エネ化に貢献してきた。カス

タムメイドゴルフシャフトなどのコンシューマー事業も展開する。2003年に日興毛織から毛織事業を買収しウールを用いるテキスタイル事業にも参入。エアリー特殊ウール素材「カール・カール」などを市場投入してきた。

繊維。繊維径が極めて細く、やさしい肌触りが特徴で、毛玉ができてく、あてやかな光沢感があり、触るとひんやりする。上質なウールの代表的存在メリノウールの繊維径が15〜25ミクロンであるのに対し、開発品は14.5ミ